

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyoubu@pref.fukushima.lg.jp



令和 8 年度

ビブリオバトル相双地区予選会において

令和 8 年度も相双地区の読書活動を盛り上げましょう

「令和 8 年度ビブリオバトル相双地区予選会の日程に係るアンケート」にお答えいただき、ありがとうございました。相双域内の中学校、高等学校、義務教育学校、特別支援学校の担当者の皆様から貴重な回答をいただくことができました。

アンケートの御意見と地域の行事予定等を考慮し、令和 8 年度の相双地区予選会の開催日を **9月19日(土)** にしたいと思います。開催場所も今年度好評だった、南相馬市民情報交流センター（南相馬中央図書館と同じ建物）を第一候補に計画していきます。すべての皆様からの御要望にお応えすることはできませんでしたが、1校でも多くの学校に参加していただけることを願っております。

今年度のビブリオバトルの様子から

令和 7 年度のビブリオバトル福島県大会は県内 7 地区で予選会が行われ、中学生が 39 名（校）、高校生が 34 名（校）参加しました。相双地区予選会には、中学生 4 名（校）、高校生 4 名（校）の合計 8 名が参加しました。また、中高生からのボランティアも 3 名参加していただき、よりクオリティの高い予選会を開催することができました。

このビブリオバトルは、大会を盛り上げる事と同じくらい、地域の読書熱を高めていくことが目的となっております。読書が大好きな人が読書の楽しさや面白い本を紹介することによって、読書に縁遠い方に新たな本との出会いを作っていくことが理想です。相双地区にはすばらしい公立図書館や個人図書館があり、文部科学大臣表彰に輝く読書団体や個人の方がいらっしゃいます。読書感想文で入賞するお子さんもたくさんいますし、ビブリオバトルを実際に授業や委員会活動で取り入れている学校も増えてきました。

大人の方でも、中学生や高校生が紹介してくれた本を手に取り、「読んでみた。」という話もたくさん聞きます。ビブリオバトルでチャンプ本に選ばれた本でも、惜しくも選ばれなかった本でも発表者の推し本への思いが伝わった作品は、つつい手に取ってしまいます。今回はビブリオバトルで出会ったハートフルな作品を 2 冊ほど紹介いたします。



『ちよっと今から仕事やめてくる』

北川 恵海（メディアワークス文庫）
発行から 10 年。コンプライアンスで社会が整っても、心の閉塞感は消えません。「辞めたら終わり」と思い込み、駅のホームで絶望する主人公。そんな彼を救ったのは、謎の男・ヤマモトの眩しい笑顔でした。本書が教えてくれるのは、「逃げる勇気は、生きるための強さだ」という真実です。ビブリオバトルで高校生がこの本を選んだ理由。それは、多感な彼らもまた「人生は何度でもやり直せる」という全肯定を求めているからかもしれません。



『ライオンのおやつ』

小川 糸（ポプラ社刊）
相双地区予選・高校生部門の準チャンプ本。余命を宣告された主人公がホスピスで過ごす日々を描いた物語です。「死」という重厚なテーマを扱いながらも、読後感は驚くほど温か。主人公や仲間たちの姿を通して、命の輝きや出会いの尊さが胸に響きます。

平穏な日常の中で、ふと「人生の最期」を考えさせられる時、この本は「生きることのすばらしさ」を改めて教えてくれるでしょう。未来ある高校生がこの作品を紹介してくれたことに、ビブリオバトルならではの素敵な出会いを感じた一冊でした。

相双地区で読書活動をもっと盛んにしていきましょう

子どもたちの読書活動をさらに活発にいくため、当事務所ではビブリオバトルの一つのツールとして活用していけたらと考えております。また、フラグフレーズという新たな読書会ゲームも研修を通して知ることができました。ビブリオバトルとは違った角度で、読書に親しむことができると思います。当地区には、図書館司書さんや学校司書さん、書店員さん、読み聞かせボランティアの方々といった本に携わる方々もたくさんいますので、皆さんの力を合わせて今後も読書活動が少しでも盛んになるように協力していきたいと思っております。



校内ビブリオを
開催しよう



相双地区予
選会感想集